



あなたの故郷は？

代表 大森正子

今年5月、母が96歳で他界しました。不思議なもので、それを境にまだ親戚が住んでいるにもかかわらず、今まで故郷と言ってはばからなかった故郷が一気に遠く感じられるようになりました。それにかわり、職縁も含めれば40年もこの清瀬にかかわりながら、いままで故郷の範疇に入っていなかった“きよせ”が、懐かしい“ふるさと”に浮上してきたのです。

職場と家の往復だった子育て時代や職縁が終わり、地域へ目を向けるようになると、清瀬のいろいろなことが見えてきました。何て美しい自然豊かな市なのだろう、高齢者がこんなにも生き活きと市民活動（ボランティア）やサークル活動をしているなんて・・・等々。

職縁から地縁へ、地縁の比重が大きくなればなるほど“きよせ”が無意識のうちに自分の中に浸透し大切なものになっていたようです。それが母の他界をきっかけに一気に“ふるさと”に昇格したのでしょうか。

縁という漢字は、他の漢字をつなげることでいろいろな熟語（造語も含めて）になります。血縁、学縁、子縁、職縁、社縁、地縁、サークル縁。社会を無縁社会や有縁社会という言葉で分ける学者さんもいます。Wikipediaによると無縁社会とは、「単身世帯が増え、人と人との関係が希薄となりつつある日本社会の一面を言い表したものだ」と、ありました。確かに高齢の単身世帯が増えています。しかし、私の周りには高齢の単身者（それが多くの高齢単身者の姿ではないにしろ）は、教養（今日行くところがある、今日用事がある）豊かで、毎日のように生き生きとあちこち出かけています。

地縁繋がりを重視し、地縁を生み出す努力を続けていく清瀬なら、わが子達にも美しい故郷になるはずですよ。



「私も先生」を終えて

第10回先生 渡邊正宏さん

「私も先生！」を1月にさせていただき、ありがとうございました。清瀬の自然の良さ、残していくことの大切さを、伝えさせていただきましたら、早速当日2名の方に入会いただき、またその後観察会などでも

入会があり、今年度は13名の入会者がありました。ここ数年の会員数の減少を止めることが出来たかなと思っております。

ここ数年の温暖化傾向に原因があるのか、今年の夏は8月までに1つも台風が来ないなあと思ったら、9月には毎週のように台風があり、また雨も降り続き日照時間が1桁という状態になり、台風が来た際には、柳瀬川は金山調整池に多くの水を逃がしても、下宿、中里、野塩の各地区に初めての避難勧告が出るほど、大量の雨水が空堀川などから流れ込み、中里の一部地域には床下浸水の住宅が出るほどでした。

当会においても、夏の作業や観察会が雨で中止に追い込まれ、雨の降らない日を使い、緊急招集をかけて台風の後片付け作業を実施しました。柳瀬川の大量のゴミを取り除き、流れてきたゴミで倒れてしまった木をチェーンソーで伐採、剪定を実施しましたが、ゴミや倒れた木が多すぎて11月に、再度実施をしなければあまりにもひどい状況です。冬には春を迎えるための落ち葉掃きもあり、その前に河畔林の清掃・剪定を終了させなければならないので、これからは忙しい日々を過ごすことになりそうです。



生態系の頂点オオウギも市内で営巣雛を孵す

会の作業や観察会は、市報に掲載されますので、市民の皆様は清瀬の自然を守る作業や、自然観察会などに興味を持っていただき、会の活動に参加して頂けると幸いです。

(清瀬の自然を守る会 事務局長)

COFUN E は、Community FUREAI Net の短縮形で『こふね』と呼びます。『私も先生！』プロジェクトで報告された資料は、COFUN E のホームページに全て掲載しておりますので、ご覧になってください。



私も先生！第11弾

犬 and 猫

～共存・共生の社会を目指して～

ワンワン柳瀬川の会 木村芳信さん

きよせ猫耳の会 松田容子さん

1月22日(日) 14:00～16:00

清瀬けやきホール1Fセミナーハウス

ふまねっと運動

2月21日(火) アイレック (7ミュー-4F)

14:00～16:00

【申込】村松 Tel: 090-5766-0953

偶数月に市内各地で実施しています。他にふまねっと運動の実施を希望している方、サポーターの資格を取りたい方、ご連絡ください。

市民の健康を守る会 in 清瀬



「子どもをタバコの害から守ろう！」

Facebook から受動喫煙関連情報を提供。
SNS が苦手な方のために SKM 通信を発行、
市内各地域市民センターに置いています。
(SKM 会員募集、一緒に活動しませんか)

「高齢者なんでも相談室」

毎月第2日曜日 10:30～12:00 要予約
(090-6009-4474)、無料 COFUNE 事務所
大森(社会福祉士、精神保健福祉士)



この時ばかりは
シニア
歳認め
ふれあいネット
MATSUYAMA、
掲載川柳より

カラー版は
サロンで

ふまねっと in 竹丘

毎月第3金曜日 竹丘地域市民センター

いずれも 14:00～16:00

【申込】竹丘センター Tel: 042-495-1717

ふれあいど〜り松山サロン

毎月第1土曜日 松山老人憩いの家

11:00～14:30 50円



『連載』コラム紹介： 会員の鹿住さんは細菌検査の専門家です。数回シリーズで小説より面白い「結核菌の話」の寄稿をお願いしています。第7話は・・・BCG？

まいったなあ

結核菌の話 第7話

日本のBCGは偉い！

子供の時、BCGを打たれましたか？ BCGは1921年(大正10年)にフランスのパスツール研究所で作られました。昔、日本ではBCGワクチンと言えば液体だったそうです。ところが戦中戦後は液体のBCGを保管する冷蔵庫もなければ、輸送するにも低温輸送システムもなく、BCGの有効期限は2週間程度で、都会の子供はいいのですが、地方に持っていくのは大変だったそうです。

そこで清瀬市の結核研究所が1949年(昭和24年)に世界に先駆けて凍結乾燥の技術を開発し、凍結乾燥生ワクチンを作りました。おかげで常温でも長期間保存できるようになり、現在は松山3丁目にある日本BCG研究所が毎年5,000万人分のBCGを世界に向けて輸出し、結核から人々を守るべく貢献しています。

K(鹿住) \ (。〜。)/

清瀬の誇りですねえ

事務局：コミュニティふれあいネット(COFUNE) 大森正子
〒204-0021 清瀬市元町1-8-20 エスタ清瀬 403
Tel: 090-6009-4474 Mail: cofune_kiyose@yahoo.co.jp

URL: <http://cofune.net>

会員募集
COFUNE活動に賛同していただける方、連絡を！
会費無料

